

別表

出雲市における行財政改革推進の考え方

1. 新市における行財政改革の推進にあたっては、次に掲げる視点を基本方針とし、地方分権時代に対応するまちづくりの実現を図る。

◆ **地方分権時代に対応するまちづくり**

地方分権時代に対応し、自己決定、自己責任を基本に自立する自治体づくりをめざすとともに、市民と行政がそれぞれ果たすべき役割を自覚・認識し、市民と行政の協働システムによる一体となった取り組みを進める。

◆ **市民本位のサービスの徹底**

常に市民の視点に立ち、高度多様化する住民ニーズに的確に対応すべく、職員の意識改革、資質向上をはじめ、業務の迅速化と省力化の徹底を図る。

◆ **簡素で効率的な行財政運営**

適正な受益と負担による行政サービス水準の確保に努めるとともに、組織機構・事務のスリム化、民間委託など徹底した経費節減、選択と集中による事務事業の見直しなどにより、簡素で効率的、長期的に安定した行財政運営を進める。

2. 行財政改革大綱策定にあたっては、新市建設計画をはじめとする合併協定項目の調整方針に従い策定することとし、新市においては、次に掲げる実施項目により行財政改革に取り組むものとする。

【行財政改革実施項目】

● **行政の効率化**

- (1) 事務事業の見直しと業務の民間委託の推進
- (2) 時代に即応した組織・機構の見直し
- (3) 公共施設の管理運営の見直し
- (4) 外郭団体の見直し

● **定員管理と給与の適正化**

- (1) 定員管理の適正化
- (2) 職員給与の適正化と総人件費の抑制・縮減
- (3) 人事評価・職員研修の強化

● **自治自立の財政運営**

- (1) 新市建設への財源確保・節減
- (2) 使用料等の負担と補助金等の受益のあり方